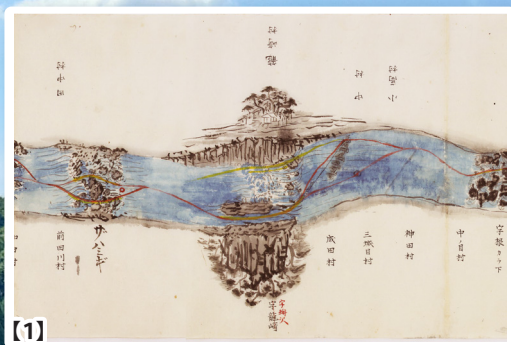


令和6年度 福島県歴史資料館 収蔵資料展

阿武隈川

流域の

歴史と文化



[1]



[2]



[3]

令和6年(2024)

8/3 (土) ▶ 11/24 (日)

前期：8/3 (土)～9/29 (日)・後期：10/1 (火)～11/24 (日) ※前期と後期で展示内容が一部変わります。

入館
無料

トピックス展 「**渋沢栄一**とふくしまの実業」 同時開催

福島県歴史資料館展示室 (とうほう・みんなの文化センター内)

〔開館時間〕 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

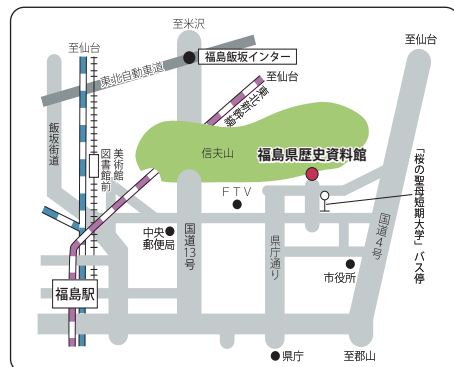
〔解説会〕 8/17 (土)・9/15 (日)・10/12 (土)・11/10 (日)
各回とも午後1時30分より、50分程度担当者が解説します。

〔主催〕 公益財団法人 福島県文化振興財団

〔後援〕 阿武隈川サミット実行委員会

福島県歴史資料館
〒960-8116 福島県福島市春日町 5-54
TEL: 024-534-9193
FAX: 024-534-9195
E-mail: history@fcp.or.jp

ホームページ X (旧 Twitter)



資料写真 [1] [阿武隈川舟運絵図] (部分、円谷重夫家文書 (その一) 454) / 資料写真 [2] 「陸奥国信夫伊達惣検地高絵図屏風」 (右隻、福島県指定重要文化財、安斎直巳家文書 38) / 資料写真 [3] 「奥州道中絵図」 (部分、木目沢伝重郎家文書 1) / 風景写真: 阿武隈峡 (福島市)

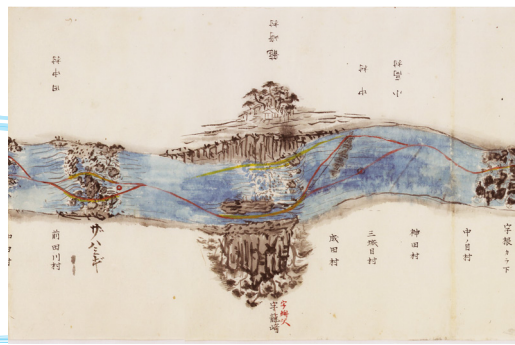


令和6年度 福島県歴史資料館 収蔵資料展
阿武隈川 流域の
歴史と文化

阿武隈川サミット発足30周年を記念して、主に江戸・明治時代の阿武隈川と支流に関する史料をご紹介します。上流域の中島村・二本松市間の通船路を描いた「舟運絵図」や、中流域の福島市・伊達市周辺を描いた「陸奥国信夫伊達惣検地高絵図屏風」、支流の摺上川で行われていた流し木に関する古文書などの展示を通して、阿武隈川流域の歴史と文化を振り返ります。



阿武隈川源流域と甲子温泉
 「奥州白川甲子山温泉図」
 天保5年(1834)仲夏
 藤井二郎家文書 242



阿武隈川通船路と難所「乙字ヶ滝」
 「[阿武隈川舟運絵図] (部分)」
 明治3年(1870)
 円谷重夫家文書(その一) 454



信夫郡の村々を流れる阿武隈川とその支流
 「陸奥国信夫伊達惣検地高絵図屏風(右隻、福島県指定重要文化財)」 延宝2年(1674)頃
 安斎直己家文書 38



摺上川の流し木と阿武隈川
 「奥州道中絵図(部分)」 18世紀後半頃
 木目沢伝重郎家文書 1

トピックス展「**渋沢栄一とふくしまの実業**」

新紙幣の発行にあわせて、新一万円札に描かれた渋沢栄一に関する史料を取り上げ、渋沢栄一とふくしまの関わりについて紹介します。

**岩越鉄道会社設立に協力した
 渋沢栄一と日下義雄**
 「渋沢栄一書状(部分)」
 明治28年(1895)6月25日
 『軌道條例其ノ他』(福島大学蔵明治・大正期の福島県庁文書 48)